

自転車利用実態定点調査報告

平成27年 12 月

(一財)日本自転車普及協会

調査目的 自転車は車道左側走行が原則であるが、実際の自転車の走行状況の実態を調査し、その状況の問題点を探り一般に公開することで、望ましい走行空間の再考資料としていただくことを目的に行う。

調査日時 平成27年 11 月 16 日
[午前]9:00~10:00

調査場所 ・ 白金幼稚園前 (庭園美術館西交差点(首都高速目黒線直下)から 70m 程の上り坂)

概要 ・ 調査対象(車道線:目黒通り上り 4 車線及び歩道:幅員 3.1m
[一部歩道橋橋脚部分 1.5mあり])
調査対象外(反対側上り歩道)



上り線車道	歩道							←	対象外 対象 エリア
	←直進・右折レーン							}	
	←直進レーン								
	←左折レーン								
	←左折レーン								
	歩道		↑						
			白金幼稚園						

調査事項 走行空間調査(車道、歩道)と危険走行調査

自転車利用実態調査結果

No.	走行空間				車種		乗客		危険運転行為			
	歩道	車道左側	車道中央	車道右側	普通	電動	乗客	乗客	片手運転	脇見運転	立ち漕ぎ	その他
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												

調査日時:	年月日	時分	日	月	日	分
人数:						
調査時間:						

＜調査票＞

[コメント]

◎走行空間においては、車道左側走行率は、25%であり、また、車道中央走行率も、26%、依然、歩道を通行する自転車が多く、全体の5割弱を占めている。

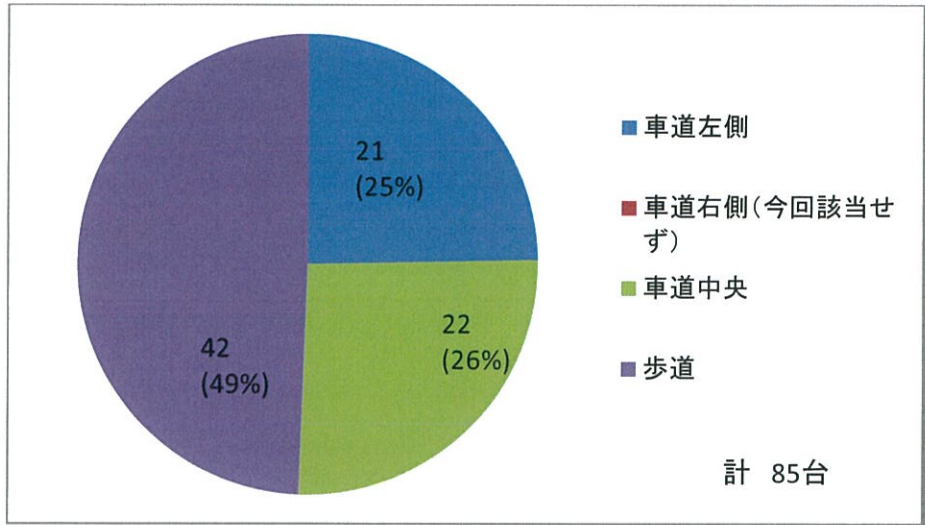
◎危険運転行為(違反行為を含む)は、肩に荷物(21件)・ハンドルに荷物(7件)・片手運転(4件/内1件は、携帯電話を使用しながらの運転)・過積載(3件)・脇見運転・立ち漕ぎ(各3件)子乗せ後部席に荷物掛け・犬連れ運転(各1件)の順となっている。

【総合】

今回は、前回に調査したデータ及び下り地点(自転車総合ビル前の11/17午前)とのデータについて以下の項目について比較してみた。

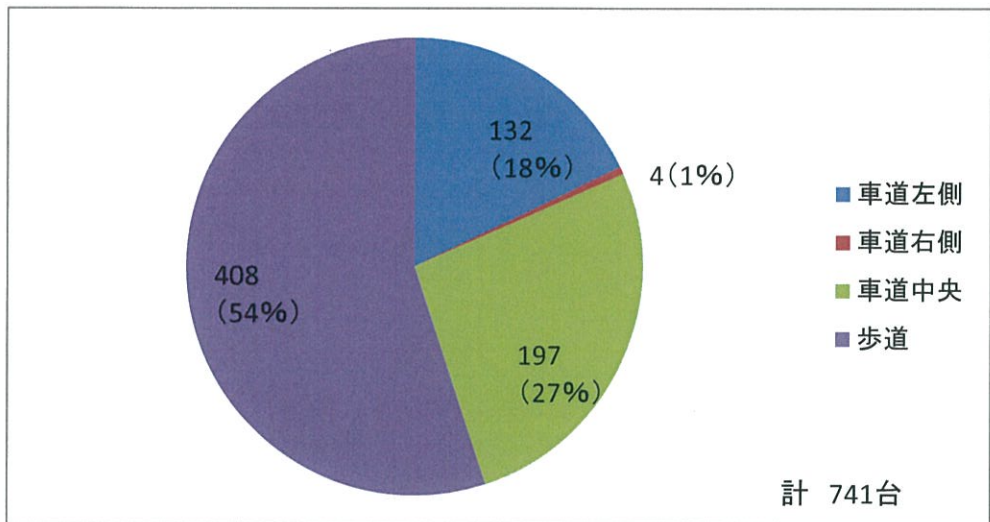
・車道左側走行率

今回(25%)に対し、前回(27%)と、ほぼ同様
上り地点の白金(以下、上り地点と呼称・25%)に対し、下り地点の自転車総合ビル前(以下、下り地点と呼称・32%)の7割の水準



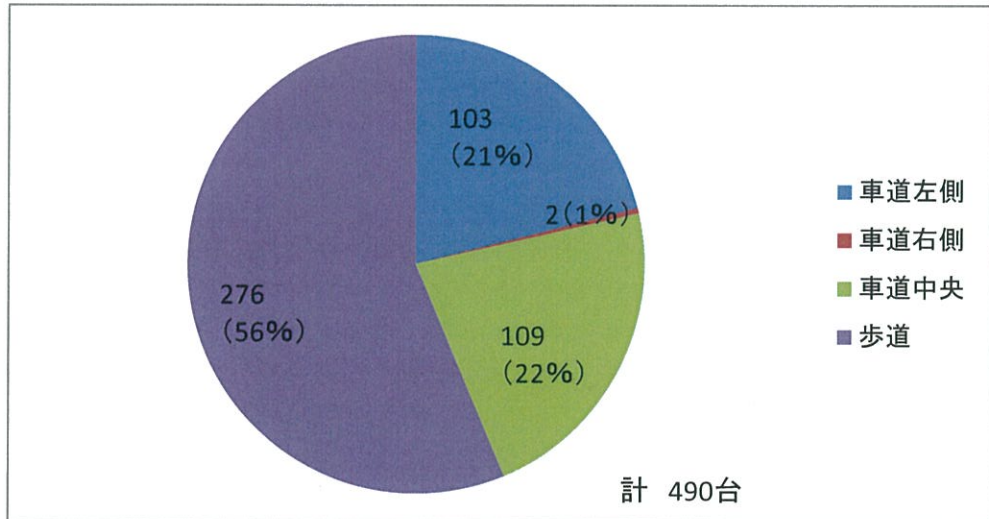
走行空間

* 参考)



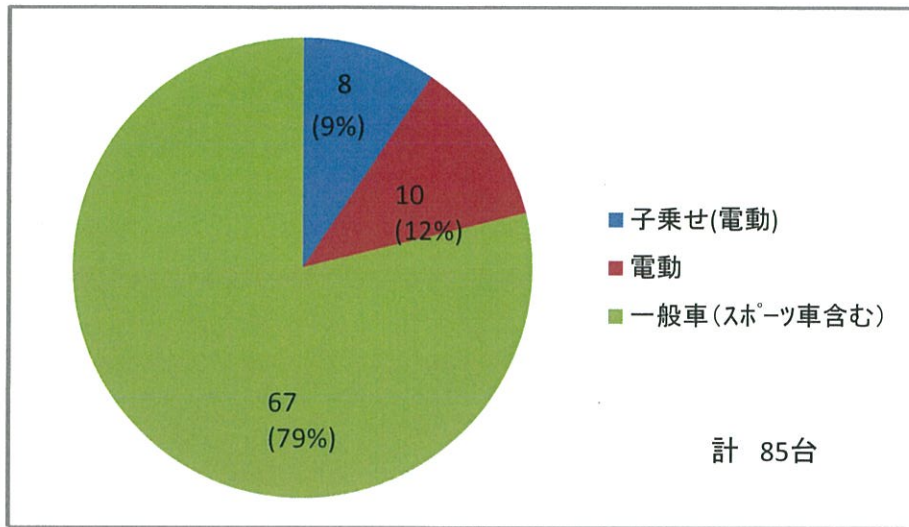
走行空間

調査期間 26.7~27.5 (道路交通法改正前)

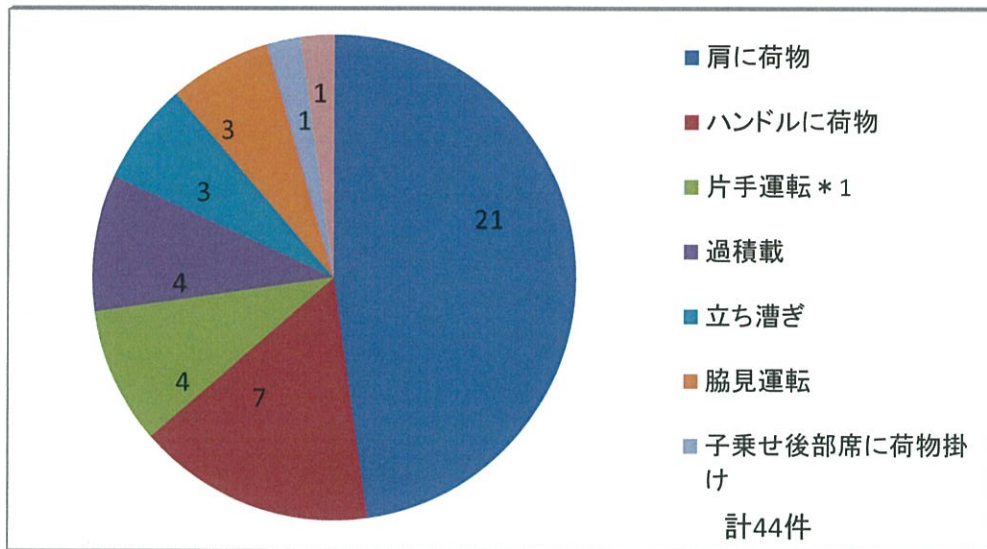


走行空間

調査期間 27.6~27.11 (道路交通法改正後)

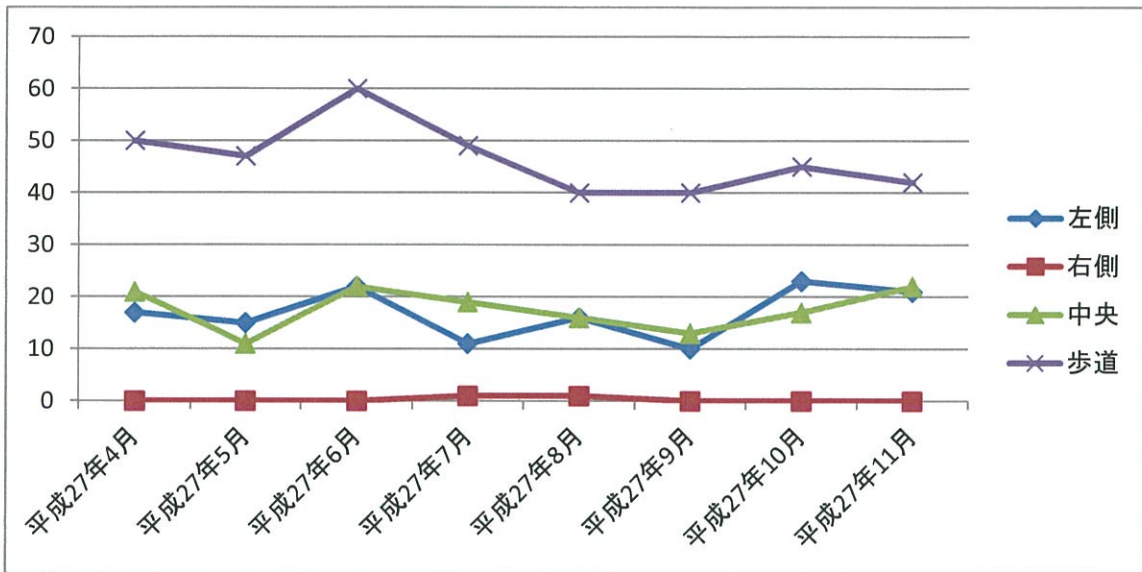


車 種

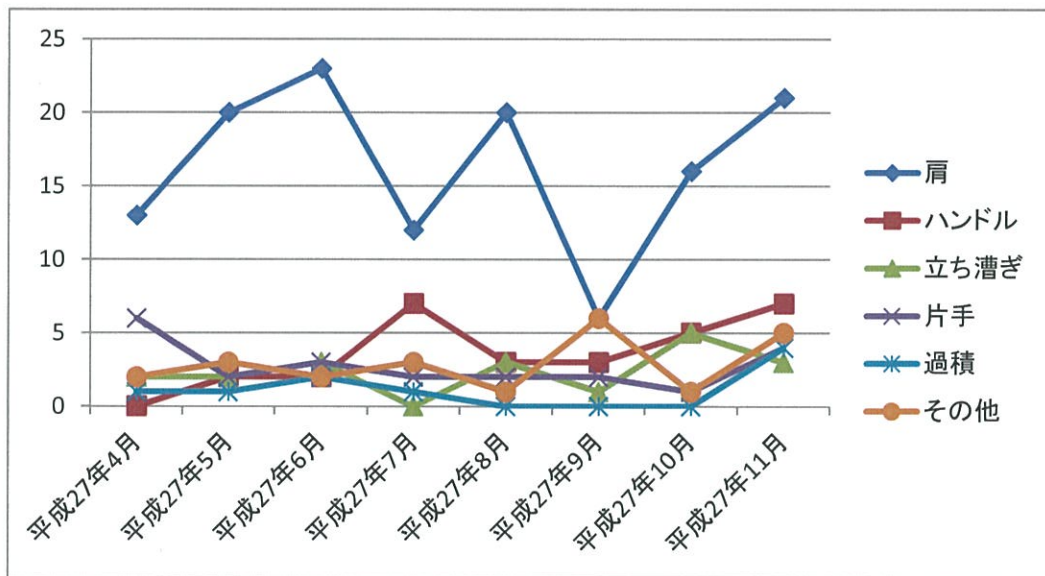


危険運転行為 (違反行為を含む)

*1 内1件 携帯電話を使用中の運転



走行空間 (台)



危険運転行為 (違反行為を含む) (件数)